2026 年 11 月6日(金) AM10:00 解禁　ニュースご掲載のお願い

報道関係者各位

株式会社 BLUE RIGHTS

オリジナルアニメーション『ニンジャスクーラー』

パイロットフィルム公開のお知らせ

及び、劇中歌「結び目」配信スタートのお知らせ

【動画】https://www.youtube.com/watch?v=hfrbzeG6v2I

平素よりお世話になっております。
株式会社 BLUE RIGHTS(東京都/代表取締役社長　木村誠)は、オリジナルアニメーション『ニンジャスクーラー』のパイロットフィルムを公開、および劇中歌「結び目」の配信スタートのお知らせを致します。

つきましては是非とも御媒体にて本件をご紹介いただけますよう、何卒宜しくお願いいたします。

『ニンジャスクーラー』パイロットフィルム公開　解禁概要

【解禁日】2026 年 11 月6日(金) AM10:00

【ムービーURL】https://www.youtube.com/watch?v=hfrbzeG6v2I

【素材】キービジュアル・場面写真等

素材をご使用の際は、下記クレジットのご掲載をお願い申し上げます。

©NINJA SKOOLER

『ニンジャスクーラー』 劇中歌「結び目」配信スタート　解禁概要

【解禁日】2026 年 11 月6日(金) AM10:00

【配信先情報 URL】 https://iwami-takashi.bfan.link/Knots

【素材】キービジュアル・場面写真等

素材をご使用の際は、下記クレジットのご掲載をお願い申し上げます。

©NINJA SKOOLER

［場面写］















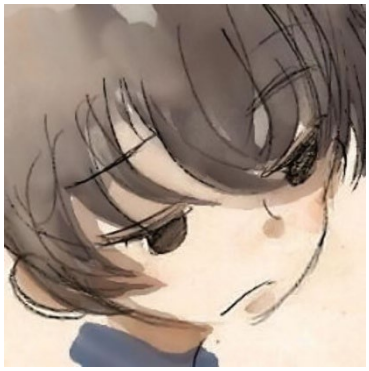


■あらすじ

フィクションの忍者に憧れる天涯孤独の少年・らっぱは、雪の降る夜に屋上から転落し、本物の忍者・御徒町（おかちまち）と師匠に命を救われる。
弟子入りを願って押しかけ、三人は家族のように暮らし始めた。
数年後、らっぱは町を守る忍者を目指して元気に奔走。
師匠が開いた駄菓子屋にはらっぱを慕う子どもたちが集まり、家族や仲間と笑い合える居場所となっていた。
この日常がずっと続くと信じていたらっぱだが、御徒町に介抱される師匠を目にし、引退した師匠が隠してきた苦しみを垣間見る……。

■制作スタッフ紹介

『ニンジャスクーラー』は、監督・絵コンテを宝井俊介が務め、キャラクター原案は『響け！ユーフォニアム』コミカライズなどで知られる漫画家・はみが手掛ける。アニメーション制作は「ポケモン feat. 初音ミク Project VOLTAGE / MV『1996』（https://www.youtube.com/watch?v=It-5v1kgaak）」を制作したスタジオハレの制作チームが担当。
ストリートカルチャーと忍者アクションを融合した新しい日常劇を、気鋭のクリエイター陣が描き出す！



■Director Profile

宝井俊介 / Shunsuke Takarai

株式会社スタジオハレ取締役。映像制作集団『賢者』副代表。
スタジオハレ、キネマシトラス、C2C 等のスタジオで、アニメーション作品の原画、演出、一人エンディングなどを手掛ける。商業作品で培った経験を基盤に、ミュージックビデオの監督や SNS を中心とした自主制作アニメーション作品の発表など、映像作家としても活躍の幅を広げている。

[主な作品歴]
ポケミク Project Voltage『1996』（監督・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出）
メイドインアビス烈日の黄金卿 6 話 11 話（演出）
Aiobahn feat. 牧野由依『non-reflection』（監督）

MyGO!!!!!『影色舞』（監督）
ILLUSTRATION2025（掲載）

■宝井俊介監督 メッセージ
忍者という特殊な存在をモチーフに、人と人との繋がりを描いた普遍的な物語を目指しました。
ふとした出会いで人生が好転することもあれば、結ばれた縁が思いがけず途切れることもある。
その機微に寄り添って岩見さんが書き下ろしてくださった『結び目』は、自分にとってもかけがえのない曲になりました。
映像面では、子どもという存在のあやふやさ、危うさを表すため、主線のない表現に挑戦しています。
背景とキャラクターが一体となった空気感を味わっていただけたら幸いです。

■劇中歌 「結び目」 配信情報
タイトル ：『結び目』
アーティスト ： 岩見陸
作詞/作曲 ： 岩見陸
エンジニア ： 秋葉知伸(SUPALOVE)
劇中歌制作協力 ：Butai Entertainment Inc.
日英翻訳 ：Diana Garnet

♪配信 ： Spotify、Apple Music、Amazon Music、YouTube Music、LINE Music、AWA ほか

配信 URL▼
https://iwami-takashi.bfan.link/Knots

[配信ジャケット写真]



■Artist Profile

岩見陸 / Takashi Iwami

ボカロ P 名義「ナナホシ管弦楽団」として独自の音楽世界を築き上げてきた、シンガーソングライター岩見陸（いわみたかし）。作家／ボカロ P として数々のヒットを世に送り出してきた彼が、2025 年 12 月に「Drip」のリリースをもって自身名義でのセルフ歌唱プロジェクトを本格始動。2026 年にはテレビ東京系幼児向け番組「シナぷしゅ」の 1 月度つきうた「鬼になる」、3 月には「語りなおし」をリリースするなど、精力的に活動を展開している。

■岩見陸氏 メッセージ

人と人との繋がりが糸となって見えるとき、恐らくそこには無数の結び目があって、その形も様々なのでしょう。固く結ばれるもの、絡まりもつれるもの、ほどけては結び直されるもの。
ときには離れて初めてその形に気づくこともあるでしょう。そうした一つ一つが関わりの中で私たちを変え、知らず知らずのうち、また次の誰かの糸へと繋がってゆくのだと思います。
その糸の向こうには誰がいて、どんな結び方を選んでゆくのか。
らっぱたちの物語とともに、皆さんの元にもこの作品から伸びた糸が届けば幸いです。

■フォロー＆リポストキャンペーンに関して

『ニンジャスクーラー』パイロットフィルム公開を記念してフォロー＆リポストキャンペーンを実施！
＜参加方法＞
【STEP 1】スタジオハレと BLUE RIGHTS の公式 X をフォロー
【STEP 2】該当のキャンペーン告知投稿をリポスト
以上 2 ステップで応募完了です。
※すでにフォロー済みの方は、STEP 2 のリポストのみで応募完了です。
※告知投稿を引用リポストしていただくと、ご覧いただいた皆様の感想がクリエイターの皆様にもご覧いただくことができるためありがたいです

この機会にぜひ**スタジオハレ公式 X** 及び、**BLUE RIGHTS 公式 X** のフォローをお願いします
@Studio_Hale（https://x.com/Studio_Hale）
@BLUERIGHTS_info（https://x.com/BLUERIGHTS_info）

■『ニンジャスクーラー』は共創パートナーおよび共同製作パートナーを求めています

本プロジェクトは、映像・音楽・出版・デジタルコンテンツを横断し、長期的な IP 価値を育成することを目的としています。映像本編に加え、漫画連載、ショートムービー、キャラクター展開、玩具・雑貨など、多層的な体験設計を進めていくために、以下の領域における共創パートナー・共同製作パートナーを広く募集いたします。

- 出版（漫画・小説・児童書）
- 音楽（主題歌・劇伴・アーティストコラボ）

- デジタルコンテンツ
- キャラクター商品(玩具・雑貨・アパレル)
- 海外展開(ローカライズ・配信・共同制作)

■ メインSTAFF

監督 / 絵コンテ / 演出 ： 宝井 俊介(スタジオハレ)
キャラクター原案 ： はみ
キャラクターデザイン ： 小栗 寛子
プロップデザイン ： 高倉 武史
美術監督 ： Lee Jooyuong
色彩設計 ： 斉藤 明子
撮影監督 ： 江間 常高(T2 スタジオ)
編集 ： 新居 和弘(Imagica EMS)
音響監督 ： 山田 陽
音楽 ： Kevin Penkin
プロデュース ： BLUE RIGHTS
プロデューサー ： 木村 誠 ・ 小笠原宗紀
アニメーションプロデューサー ： 和田 慧(スタジオハレ)
アニメーション制作 ： breccia ・ Kinema citrus

本ニュースご紹介の際は、下記情報を記載頂けますようお願い申し上げます。
権利表記:©NINJA SKOOLER
公式サイト ： https://bluerights.jp/
公式 X ： @BLUERIGHTS_info（https://x.com/BLUERIGHTS_info）
公式 YouTube チャンネル ： https://www.youtube.com/@bluerights_official
公式 Tik Tok ： https://www.tiktok.com/@bluerights.jp

【株式会社 BLUE RIGHTS について】

BLUE RIGHTS は、グローバルなパートナーやファンとともに、アニメ、漫画、音楽、イベント・催事など、多様な領域を横断して企画・プロデュースを手がけるエンターテインメントカンパニーです。

国内外のクリエイターや企業と連携し、作品の企画開発からメディア展開、リアルな体験の創出までを一体的にプロデュース。国や文化、ジャンルの垣根を越え、世界中の人々に愛される作品と体験を生み出し、育てていきます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

会社名	株式会社 BLUE RIGHTS
担当者名	木村誠
E-mail	info@bluerights.jp

以上